

この本のとくちょう

『まるごと 日本のことばと文化』は JF 日本語教育スタンダードに準拠したコースブックです。以下のような特徴があります。

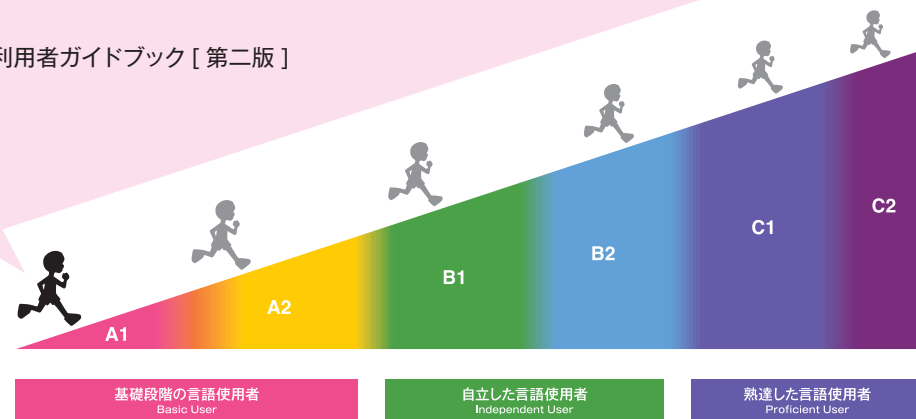
● JF 日本語教育スタンダードの日本語レベル

『まるごと』は JF 日本語教育スタンダードの 6 段階 (A1-C2) でレベルを表しています。『まるごと』(入門) は A1 レベルです。

A1 レベル

- ・具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。
- ・自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。
- ・もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやりとりをすることができる。

JF 日本語教育スタンダード 2010 利用者ガイドブック [第二版]



● 2つの『まるごと』: 「かつどう」と「りかい」

『まるごと』は日本語を使ってコミュニケーションができるようになるために、「かつどう」と「りかい」の2つの学習方法を提案します。

「かつどう」: 日本語をすぐに使ってみる人に

- ・日常場面でのコミュニケーションの実践力をつけることが目標です。
- ・日本語をたくさん聞き、話す練習をします。

「りかい」: 日本語について知りたい人に

- ・コミュニケーションのために必要な日本語のしくみについて学ぶことが目標です。
- ・コミュニケーションの中で日本語がどう使われるか、体系的に学びます。

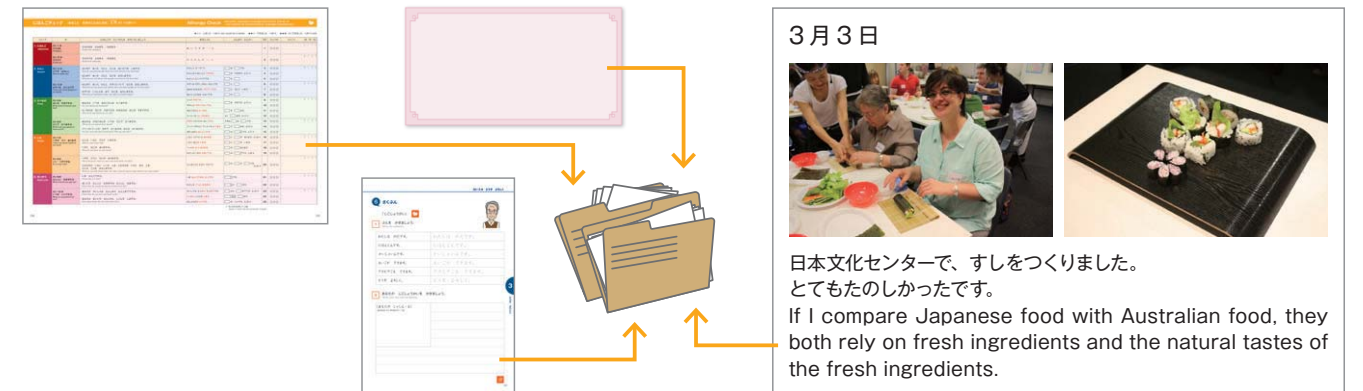
「かつどう」と「りかい」はどちらも主教材です。どちらを選ぶかは、学習目的によって決めてください。また、「かつどう」と「りかい」は同じトピックで書かれています。両方で学べば、総合的に日本語力をつけることができます。

● 異文化理解

『まるごと』は、ことばと文化を合わせて学ぶことを提案しています。会話の場面や内容、写真、イラストなど様々なところに異文化理解のヒントがあります。日本の文化について知り、自分自身の文化をふりかえて、考えを深めてください。

● 学習の自己管理

ことばの学習を続けるためには、自分の学習を自分で評価し、自分で管理することがとても重要です。ポートフォリオを使って、日本語や日本文化の学習を記録してください。ポートフォリオを見れば、自分の学習プロセスや成果がよくわかります。

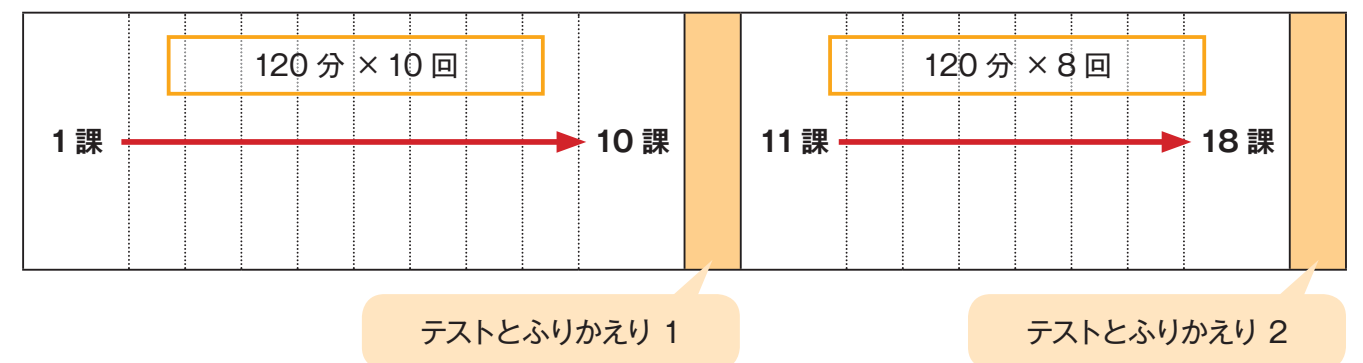


この本のつかいかた

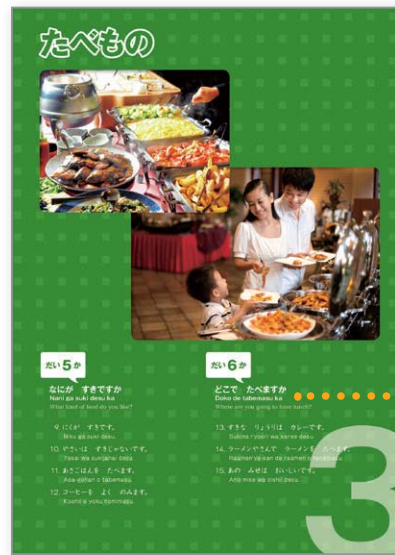
1 コースの流れ

『まるごと』(入門 A1 りかい) のコースは、コミュニケーションを支える言語構造(文字、語彙、文法、句型など)の学習を中心に進めます。1回の授業で1つの課を学習します。授業時間の目安は1課あたり120分です。コースの中間と終了時に「テストとふりかえり」をするので、全20回の授業になります。

標準的なコースの例



2 トピックと課の流れ



1つのトピックに、2つの課があります。写真を見て、どんなトピックか話します。基本文を見て、この課で学習することを確認します。

べんきょうするまえに

この課の内容についての質問があります。課の内容を想像し、理解しやすくするための準備です。

もじとことば

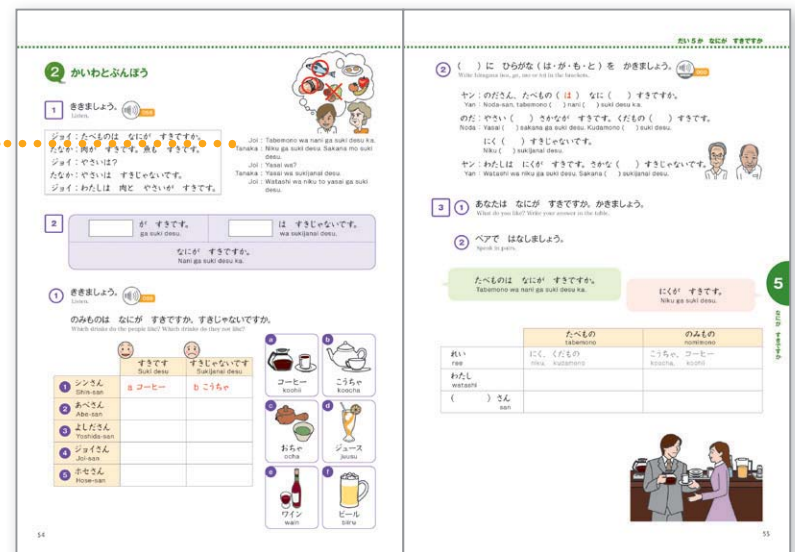
この課で使う文字とことばの練習をします。必要に応じて、語い帳を使います。ことばはトピックとつなげて意味を理解するのが効果的です。URL→p9

かんじ

トピックに関係のあることばが漢字で表されています。漢字はまず読み方をおぼえましょう。

日本語の文字を読む負担を軽くするために、ローマ字がついています。

トピック1-5 : 全部
トピック6-9 : 会話と読解



かいわとぶんぼう 2-4



● モデル会話

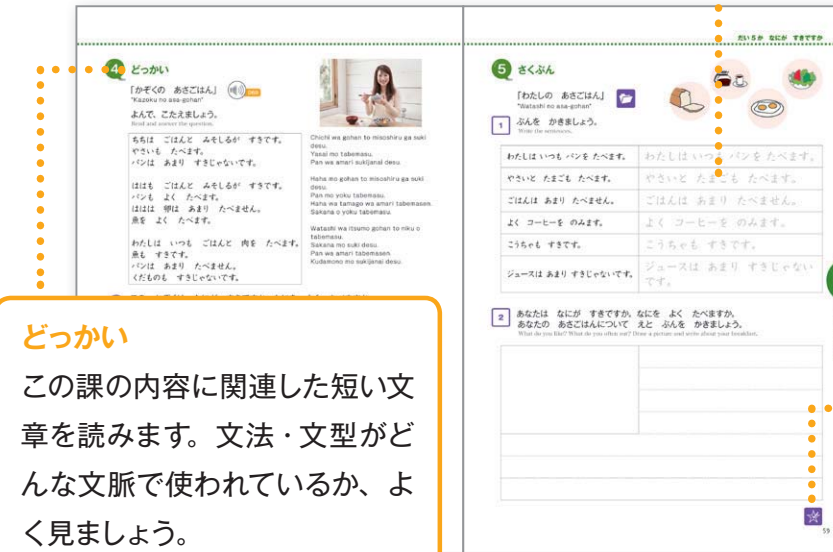
音声を聞きながら黙読し、会話と文法を結びつけて理解します。イラストもヒントに使いましょう。

● 文の構造

文の構造やルールを理解します。

● 練習

文脈/場面の中で、会話と文法を結びつけて練習します。答えのチェックにも音声を使ってください。



どっかい

この課の内容に関連した短い文章を読みます。文法・文型がどんな文脈で使われているか、よく見ましょう。

アイコン

ごいちょうを みましよう

おんせい

にほんごチェックを しましよう

きいて チェックしましよう

ポートフォリオに いれましよう

さくぶん

この課の内容に関連した短い文章を書きます。モデルの文章を練習してから、自分について書きます。なぞり書きで、文字の練習にもなります。書いたら、ポートフォリオに入れます。URL→p9

にほんごチェック

授業のあとで、場面に合った日本語の使い方がわかったか、自分でチェックします。にほんごチェック p194-p197 URL→p9

「さん」はほかの人の名前の後ろにつける敬称です。(あべさん)



あべさん
にほん



のださん
にほん



キムさん
かんこく



シンさん
インド



かわいさん
にほん



ホセさん
メキシコ



たなかさん
にほん



さとうさん
にほん



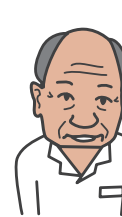
よしださん
にほん



ジョイさん
オーストラリア



すずきさん
にほん



ヤンさん
マレーシア



カーラさん
フランス

3 異文化理解の活動

『まるごと』はことばと文化をいっしょに学ぶコースです。教室の外でも日本語を使ったり、日本文化を体験したりしましょう。

- ・ 日本のウェブサイトを見る
- ・ 日本のドラマや映画を見る
- ・ 日本料理のレストランに行ってみる
- ・ 日本関係のイベントに行ってみる
- ・ 日本人の友人や知り合いと話してみる

教室の外で体験したことをクラスの人と話してください。

4 学習の自己管理の方法

1) にほんごチェック

1つの課が終わったら、にほんごチェック(p194-p197)を見て、チェックします。自分の学習をふりかえって、コメントを書きます。コメントは何語で書いてもいいです。

Nihongo Check		NO	ひょうか	コメント	(年/月/日)
★☆☆: しました I did it, but could do it better.	☆☆☆: できました I did it.	★★★: よくできました I did it well.			
あ、い、う、え、お……ん	おんほう・おんげい	1	☆☆☆		(/ /)
ア、イ、ウ、エ、オ……ん		2	☆☆☆		(/ /)
わたしは カーラです。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> そうです。	3	☆☆☆		(/ /)
わたしは にほんごが できます。	<input type="checkbox"/> が できます。(L11)*	4	☆☆☆		(/ /)
わたしも エンジニアです。	<input type="checkbox"/> も <input type="checkbox"/>	5	☆☆☆		(/ /)
かぞくは おおとこ と おんな と わかっています。	<input type="checkbox"/> と <input type="checkbox"/>	6	☆☆☆		(/ /)

コメントの例

- ・ 自分のことば(母語)と文法が似ていると思った。
- ・ 自分のことば(母語)にない助詞がおもしろいと思った。
- ・ 文字が読めるようになって自信がついた。

2) ポートフォリオ

日本語と異文化理解の学習や体験を記録し、ふりかえるために、ポートフォリオには以下のようなものを入れます。

- ① にほんごチェック
- ② テスト
- ③ さくぶん
- ④ 日本語・日本文化の体験記録

5 テストについて

テストの方法と内容については、「テストとふりかえり」(p99-p100、p165-p166)を見てください。

6 関連情報

『まるごと』ポータルサイト <https://www.marugoto.org/>

以下の『まるごと』関連リソースをダウンロードしたり、学習支援サイトにアクセスしたりできます(無料)。

● 教科書といっしょに使う教材

- ・ 音声ファイル
- ・ ごいちょう
- ・ さくぶんシート
- ・ ごいインデックス
- ・ ひょうげんインデックス
- ・ かんじのことばリスト
- ・ にほんごチェック

● 学習支援サイト

- ・ 「まるごと+(プラス)」
- ・ 「まるごとのことば」

● 教師用リソース



〈ごいちょう〉